

今こそ備えを ～防災はあなたの意識から～

9月1日は防災の日、1日から7日は防災週間になります。この機会に、地震や大雨などの災害から自分と家族を守るために、今何をするべきなのかを考え、できることから心と物資の準備を始めましょう。

出典「消防科学総合センター」<http://www.isad.or.jp/>

知っていますか 地震のこと

関東地方で起こりうる大地震は

M（マグニチュード）8クラスの地震は、1923年9月1日（大正関東地震）と1703年（元禄関東地震）に発生し、このクラスの地震は180～590年間隔で発生すると考えられています。ただ、M7クラスの地震は、元禄関東地震と大正関東地震の220年間で平均して27・5年に1回の頻度で発生していることから、南関東に発生する確率は、今後30年間で70%程度と想定されています。

「マグニチュード」と「震度」の違い知っていますか

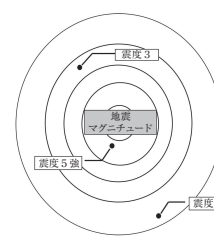
地震が発生すると「マグニチュード」や「震度」という言葉を耳にします。2つの値には違いがあります。

マグニチュード

地震そのものの規模を示す値です。マグニチュードが1上がると、地震のエネルギーは32倍にもなります。

震度

観測地点での揺れの大きさを示す値です。地震の揺れは同心球状に広がります。



日頃の備えが大切です

支援物資が届き、公的機関の受け入れ態勢が整うまで72時間かかると言われています。水と食料は最低3日分、できれば7日分を備えましょう。

非常食の備蓄

レトルト食品・フリーズドライ食品

お湯で簡単に作れるもの。多めに作って冷凍したもの。保存できる食材は、非常食として有効です。

お菓子

保存期間も長く、食事の代わりや、ストレス軽減効果も期待できます。

食糧以外の備蓄

生理用品や紙オムツ

サイズや種類に個人差があります。使い慣れたものを備蓄しましょう。

ウェットティッシュ

身体を衛生的に保つため、用意しておく便利です。

マスク

ほこり等で空気が汚染されます。臭いを抑える効果もあります。

家具や物を固定しましょう

寝室や子ども部屋には、家具を置かない、置いても低い家具にして、出入口をふさがないようにしましょう。

情報を収集しましょう

防災行政無線

屋外拡声スピーカーから緊急情報などをお知らせします。

放送内容は電話で確認できます

聞き逃したり、よく聞き取れなかった場合は、「防災行政無線応答サービス」をご利用ください。

☎0120-1621-3900

今すぐ登録を

嵐山町あんしんメール

ご登録いただいた電子メールアドレスに、防災行政無線の放送内容やその他緊急情報を送信します。次の二次元コードからご登録いただけます。



その他の情報収集手段

町公式ホームページ・ツイッター
広報車

問合せ 地域支援課

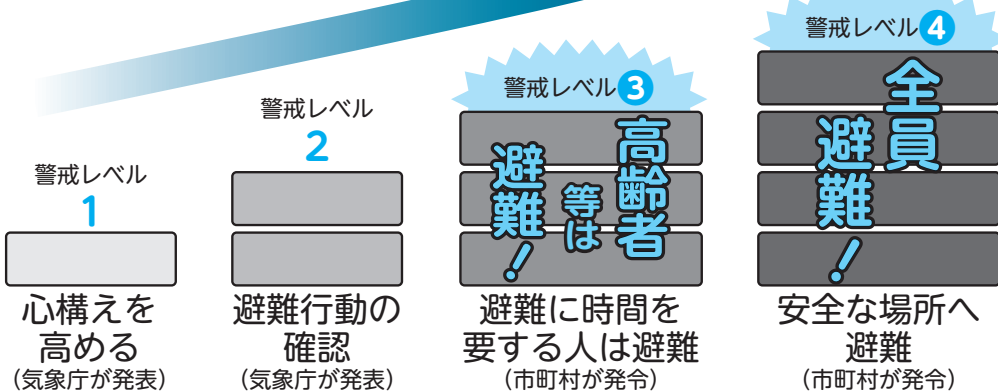
☎62-2152

「警戒レベル4」で全員避難です

防災情報は、災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」で提供します。

「レベル3」で高齢者等は避難、
「レベル4」で全員避難を

危険度



【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

避難情報はどのように伝えられるの

テレビやラジオ、インターネット、防災行政無線、嵐山町あんしんメールなどで提供されます。なお、警戒レベル3、4、5は町から発令されます。「防災行政無線」や「嵐山町あんしんメール」などにてお知らせします。いきなり高い警戒レベルが発令されたり、災害の状況が急変することもあります。町から避難情報が発令されていない場合でも、防災気象情報を参考にしてください。地域で声を掛け合い、安全・確実に避難しましょう。

引用 政府広報オンライン「警戒レベル4」で全員避難ですー防災情報の伝え方が5段階に(令和元年6月25日)

災害発生した際の連絡手段を知りましょう

大規模災害時は、固定、携帯電話が不通になり連絡手段が制限されます。

災害用伝言ダイヤル(1717)

安否確認や避難情報を音声メッセージで登録できます。

災害用伝言版

文字で伝言を残し、互いに伝言を登録することもできます。NTTが行っている「web171」サービスのほか、各携帯会社や民間業者もスマートフォン向けアプリを開発しています。